

【実施要項】

第58回 関東小学生剣道錬成大会

大会参加団体会長 先生

参加選手の皆さん

保護者の皆様

東京都少年剣道研究会

会長 松村 政孝

実行委員会一同

今年で、この大会も58回目となりました。この大会が続けてこられたのは、先生方、先輩方、保護者の方々をはじめとして、多くの方々のお陰です。特に忘れてはいけないのは、この大会を最初に開催された山下惣策先生のご功績です。山下先生は、少年少女剣士が剣道を通して立派な人間になることを目指し、将来剣道精神を持って日本を良き国にしてくれることを願い、この大会を継続してくださいました。山下先生への感謝の気持ちを持って、大会の準備を進めておりますが、一番大事な事は、参加された選手の心の持ち方です。この大会のことをよく知って、目標を持って、日本武道館へ集まってもらいたいと思います。

わかりにくいことも多いでしょうが、実施要項を良く読んで大会参加の心構えをかため、1日の流れをよく理解し、剣道少年、少女の誇りにかけて楽しい武道館大会にされるよう選手の皆さんの努力を望んで止みません。

「こんなに大勢集まるのだから事故が一番心配です。」と日本武道館の先生がいろいろと心配されています。くれぐれも安全に気を付けて、以下のことを心掛け、参加してください。

- (1) 体の調子を整えて、前日の夜は、よく眠ってください。体調の悪いときは、無理して参加しないでください。
- (2) その日だけ、一生懸命頑張っても、勝利の栄冠は手にできません。毎日の努力がいかに大切かということ、日本武道館で考えましょう。
- (3) 過去に、2階のベランダの手すりに腰かけて遊んでいた選手がいました。落ちたら一大事です。また、危ない所に上がって遊び、落ちて、5針縫うけがをした子がいました。危ないことは、絶対にやめましょう。

<山下惣策先生の言葉>

皆さんの一人一人が大事な国の宝です。決して事故があってはなりません。日本武道館は、武道の稽古で強い体と立派な心の良い日本人を育てるために建てられました。大会のこの1日は、試合の勝ち負けではなく、皆さんの行動が日本一の少年少女らしい立派なものであるよう、お祈りしております。年度末で一番忙しい時期に準備して、新年度の4月にこんな大きな大会を開くことは、大変難しいことです。それをやり続けてきた願いは、中学校入学のお祝いをし、後に続く後輩がその心を受け継いで、今までより、更に一生懸命稽古に励むよう、日本武道館で誓い合いたいからです。

近年、試合場受け持ち役員の団体が少なくなり苦勞しておりましたが、今回は、協力団体が増え、たいへん有難く思っております。これからも引き続き、お力添えいただけますようお願い申し上げます。

◎大会要項 (1日の流れ)

1. 期日令和5年4月16日 2. 会場 公益財団法人 日本武道館 3. 受付開始 午前7時30分頃(予定)

(1) 到着順に各団体ごとに4列に並んで受付開始をお待ちください。

(2) 各団体は、受付カードを受付に出してから、

1団体ごとにまとまって入ります。

(3) 引率者と選手は、必ず一緒に入ります。

団体の代表者などが先に入って、縄はりなどをして先取りすることは厳禁です。

【整理番号を配布します。】

(4) 選手席は自由ですが、P3の選手集合隊形図の選手団の後方2、3階席を取るようになってください。

仲良く、詰め合い譲り合ひましょう。

(5) 選手は、座席に着いたらすぐに更衣します。

参加賞の手ぬぐいのマークがひたいの中央になるよう、はちまきをします。

(6) 【参加賞・プログラム】

正面(西口)表玄関左側にて、同封の引換券を提出し、受け取ってください。

(7) 【審判員】審判員の方は、大道場北側で個人個人、受付をお願いします。

(8) 【試合場受け持ち団体】作品道場室に、午前8時15分集合。各団体2~3名とし、記録係は、必ず出席してください。打ち合わせ終了後、試合場備品を持ち、各席に着きます。

※団体受付入口より入館できない場合、北口より係員のみ入館し作品道場に集合してください。

(9) 掛かり稽古の元立ちの先生方は、東側の更衣室をお使いください。審判員の先生方は本部室隣救護室前の控室を、昼食の時などにお使いください。

【女子更衣室】は、作品道場の前側にあります。アリーナ側から出入りしてください。

4 選手集合・・・8時40分

(1) 入場行進をする者。(選手代表だけ、竹刀を持ちます。)

1番から69番までは東の入り口に、70番から137番までは西の入り口に集合します。

入場行進整列順

①プラカード持ち ②選手代表(1名 竹刀を持つ) ③団体代表者(握手者)

(およそ番号順に並ぶ)並び順は、P3の選手集合隊形を参考にしてください。

※審判員の先生方は、入場行進の開始前【8時55分】までに、全員、P3のように整列をお願いします。

(2) 入場行進をしない選手は、P3の選手集合の図のように分かれ、中央本部に向かって座ります。

(3) 面・甲手と竹刀を会場の周りにまとめて置きます。

(4) 指導員

①指導員徽章を左胸につけ、選手の世話ををお願いします。【徽章がない場合、入場禁止】

②選手誘導をお願いします。特に掛かり稽古の時、選手の順番を間違えないようにお願いします。

③掛かり稽古の並び方は、特に中央の元立ちの先生方の前に行くよう、誘導をお願いします。

④試合の進行を円滑にするために、選手を把握し、試合に遅れないように誘導をお願いします。

⑤不都合なことが起きたときは、速やかに本部席に連絡をお願いします。

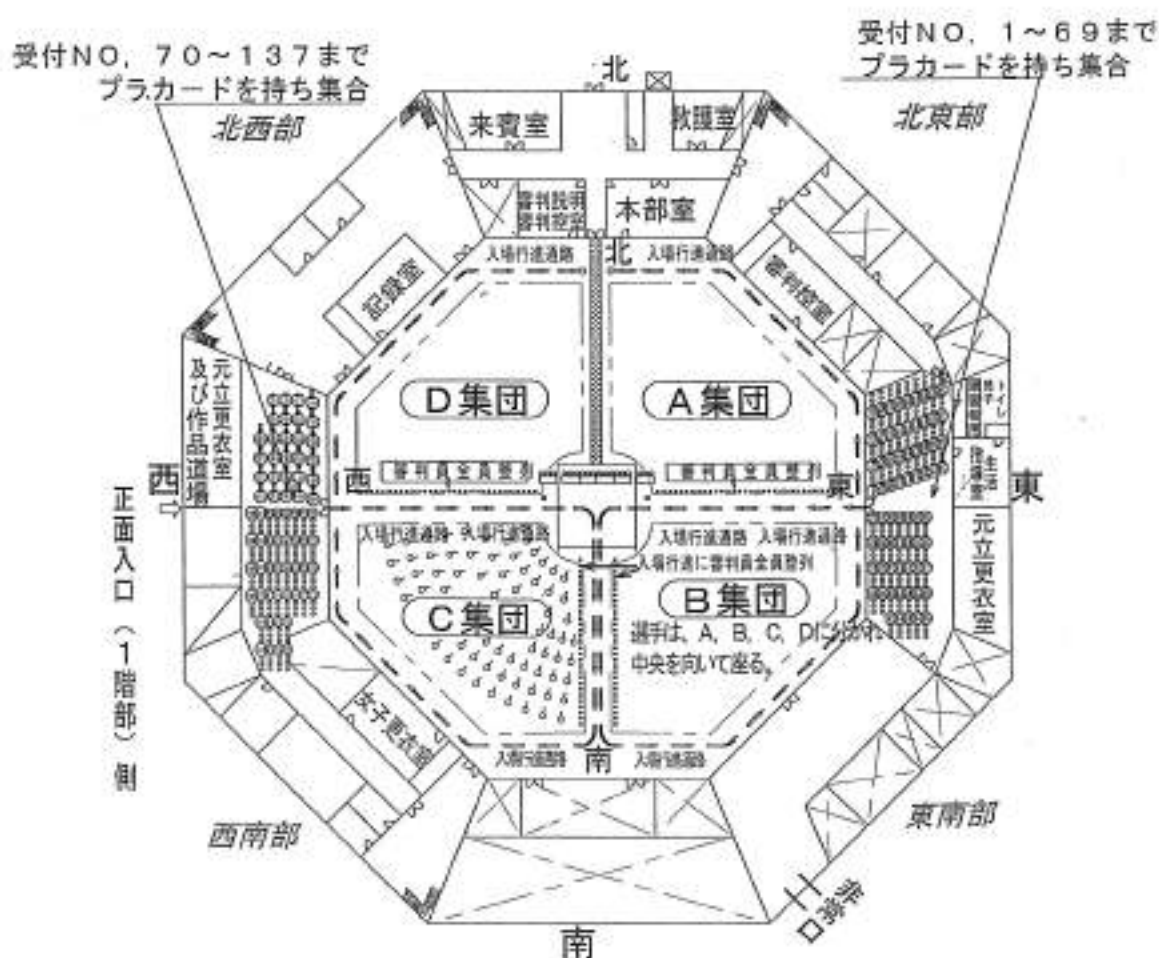


選手集合隊形

- (1) 入場行進をしない選手は、大道場の A,B,C,D 集団に集まります。
- (2) 新中1年生は、左の肩に、「祝 進学」のリボンをつけます。【リボンは当日、配布します。】
- (3) 入場行進は、下図の矢印のように進みます。東・西が向かい合った所で礼をし、左右に向きを変えて前進します。選手代表も互いに礼をし、団体代表は互いに礼をし、【選手を必ずし】、列の後ろに続く（走らない）。
- (4) 選手集合の時、面と甲手をそれぞれの集団の周りに置いてから集まる。今回は、第1分団と第2分団と2回に分けて行います。

※掛かり稽古のやり方

- (ア) 礼 (イ) 切り返し(2回) (ウ) 稽古 (エ) 太鼓の合図でそんきょ (オ) 礼 (カ) 右側に移動する。



※ 下記の事を注意してしっかり守ろう。

- ①自分の席から大道場への階段や廊下は、絶対に走らない。
- ②通路や選手席、館外での練習はしない。特に3階席上段で素振りをしてない。
- ③天井を、竹刀や傘などでつつかない。
- ④面や甲手を忘れたり落としたりしない。
- ⑤物を投げたり、振り回したりしない。
- ⑥鍵のかかっている所を開けない。

落ちているごみは進んで拾おう。

5 入場行進・・・9時

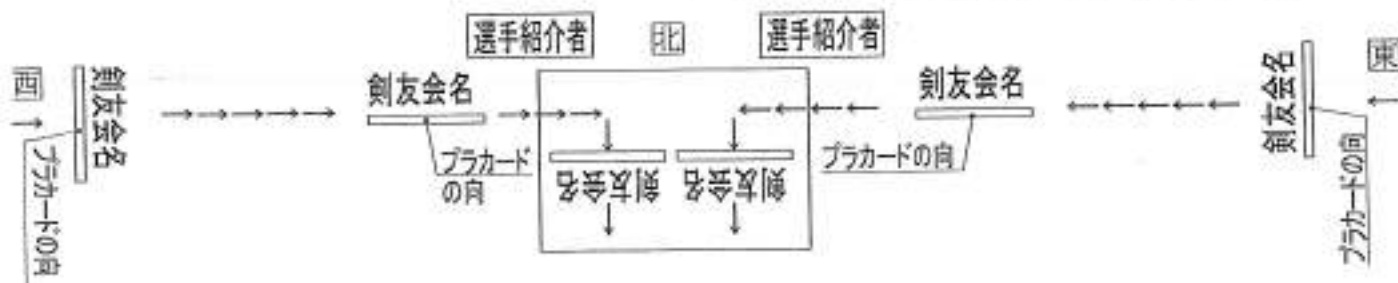
(1) 東入口から【1番・真和館剣道場～69番・桜剣道スポーツ少年団】

西入口から【70番・嶺南剣友会～137番鳳武館】

(2) ブラカード持ちは、行進中、ブラカードの向きを(2回)替えながら進む。本部前で、来賓の先生方にチーム名が分かるように横向きにする。対面し、向きが変わったら、ブラカードを正面にする。

(3) 行進の並び方

①ブラカード持ち選手(1名) ②選手代表(1名)(竹刀を持つ) ③団体長(1名)(握手をする。)



(4) 入場行進者は行進後、ブラカードを中央に向けて、横に並んですわります。

(5) 各試合場の審判主任の先生方は、中央本部の周りに位置し、審判、係員の先生方は、周辺部に横1列に並び、入場行進選手の誘導をお願いします。

(6) ブラカード持ちは、開会式終了後、直ちに各団体の指導員にブラカードを渡します。

6 開会式・・・9時30分

(1) 国歌斉唱

(2) 誓いの言葉・・・小学生代表 新6年生 東京都葛飾区 梅本少年剣友会 岩崎 耀平 宇佐美 琥珀

(3) 感謝の言葉・・・新中学生代表 千葉県佐倉市 志津剣道同好会 花島 慧胡 平野 榛夏

「祝進学」(新・中学1年生) 起立 新・中学1年生

7 掛かり稽古・・・10時30分～11時

全体を2つの集団に分け、4から5回程度交代して行います。

自分が、どこの場所で何回目に掛かるのかを、良く覚えておきましょう。

5ページの次のことに○をつけましょう。

(1) 自分の掛かる場所は会場の

北東部でA集団。 南東部でB集団。 南西部でC集団。 北西部でD集団。

(2) 掛かるのは

() 回目です。 団体は() 番です。

(3) 第1分団は、先生の前に約3名程度正座し、代表選手の号令を面を着けないで待ちます。

(4) 代表選手号令【姿勢を正して 黙想】・・・【やめ 先生方に礼】(志津剣道同好会 岩下 康太)

(5) 自分の座席から大道場への往復は絶対に走らず、静かに右側を歩きます。人を押しのけたり、竹刀を振り回すことは厳禁。

(6) こんなに大勢の掛かり稽古は、普通は行われません。皆さんの素直な心があるからできることです。

電光掲示板で連絡をします。掲示板と放送に注意し確認すること。

(7) 掛り稽古の【分団別編成表】(交換のしかた)

☆ 各選手は自分の所を赤線で囲み、タテ、ヨコの線で集団と分団を結び、自分の出番をおぼえる。

- ① 開会式が終わり第1分団起立…大道場の周りで面、甲手を持って元立ちの先生の前に3人ずつ座る。…まだ【面はつけない】 (実川先生の指示を待つ)

番号	集団 分団 人数	(北 東 部)		(南 東 部)		(南 西 部)		(北 西 部)	
		A 集 団	B 集 団	C 集 団	D 集 団	A 集 団	B 集 団	C 集 団	D 集 団
		1~17…168名	18~34…171名	35~49…161名	50~64…1173名				
1 回 分 団	1	真和館	18	萌木剣道教室	35	総和剣道クラブ	50	蓮田市城剣友会	
	2	春日部剣真会	19	新小岩剣友会	36	六実剣道会	51	三菱剣友会	
	3	自由が丘住区剣道クラブ	20	太田少年剣友会	37	袖ヶ浦剣道同好会スポーツ少年団	52	武蔵剣友会	
	4	栃木武徳殿	21	東京松武会	38	御岳剣道双葉会	53	緑ヶ丘剣友会	
	5	浮間武道錬成部	22	品川台場剣友会	39	慈光神武館道場	54	敬天館道場	
	6	志津剣道同好会	23	栗橋雄武館	40	窪町剣道クラブ	55	内田剣友会	
	7	高崎 魁沈館 長井剣道場	24	少年剣道五常之会	41	桜剣友会	56	瀬谷区剣道連盟	
	8	錬心館 中島道場	25	上平井剣友会	42	小中台剣友会	57	睦沢錬心会	
	9	錬心館市原道場	26	柏第二第三剣道少年団	43	瑞剣道スポーツ少年団	58	熊谷剣道教室	
	10	南六郷少年剣道部	27	印南剣道スポーツ少年団	44	小金井けやき剣友会	59	秩父明徳本館	
	11	剣道緑の風	28	松伏町剣道連盟	45	中野剣道教室	60	釜利谷剣友会	
	12	流山市剣道連盟東支部	29	大剣会	46	大原少年剣友会	61	大森剣友会	
	13	船堀剣心会	30	片瀬剣友会	47	神津島剣道会	62	藤沢市剣道連盟	
	14	一宮尚武会	31	武蔵村山市剣道連盟	48	新磯剣心会	63	南千住剣友会	
	15	梅本少年剣友会	32	北部ジュニアスポーツクラブ	49	南田中青少年育成剣道部	64	凌雲館緑剣道場	
	16	剣修小比企少年剣道会	33	大宮武蔵剣友会					
	17	みつわ台剣友会	34	修武館					

- ② 第2分団…第1分団が掛り稽古を始めたとき【面、甲手をつけながら】第1分団の稽古を見学する。

番号	集団 分団 人数	(北 東 部)		(南 東 部)		(南 西 部)		(北 西 部)	
		A 集 団	B 集 団	C 集 団	D 集 団	A 集 団	B 集 団	C 集 団	D 集 団
		65~81…172名	82~98…173名	99~114…161名	115~137…179名				
2 回 分 団	65	青梅錬心館	82	鶴川警察署剣道スポーツ少年団	99	江戸川報徳会	115	瀬谷至誠館	
	66	青梅中央道場	83	嶺南剣友会	100	久里浜剣友会	116	相剣連 上溝剣友会	
	67	昭島中央剣友会	84	若竹少年剣友会	101	南篠崎剣友会	117	八雲体育館こども剣道場	
	68	誠愛剣道会	85	東伊興剣道友興会	102	日本武道館研修センター	118	立川竹の子剣道会	
	69	松原剣道スポーツ少年団	86	篠崎剣友会	103	山王体育館剣道クラブ	119	福生剣友会	
	70	西荻尚武会	87	幸武館道場	104	川崎御幸剣友会	120	ひぐらし剣道教室	
	71	聖徳学園剣道教室	88	習志野市鷺沼剣友会	105	市川市国分剣友会	121	玉流剣道会	
	72	志悠館	89	信篤道場	106	オール大久保剣道部	122	習志野武道館	
	73	日野剣友会	90	鶴ヶ峰剣友クラブ	107	鶴見北辰館三浦道場	123	富岡剣友会	
	74	和泉剣友会	91	矢向剣友会	108	東京小島剣友会	124	昭武館宮澤道場	
	75	流山市剣道連盟鶴ヶ崎支部	92	仲六少年剣友会	109	片山剣友会	125	根郷剣友会	
	76	毛呂山剣友会	93	養浩館道場	110	千剣会	126	流山警察署少年剣道クラブ	
	77	木更津剣誠会	94	群馬県吉田道場	111	八潮市剣道連盟	127	向島剣友会	
	78	流山市剣道連盟江戸川支部	95	凌雲館	112	錬心館	128	葦立剣友会	
	79	大和市 渋谷剣友会	96	舎人剣友会	113	高砂少年剣道会	129	栗橋南剣友会	
	80	桜剣道スポーツ少年団	97	みつわ台剣心会	114	葛飾少年剣友会	130	雄武剣友会	
	81	葛飾東部剣友会	98	藤が丘剣友会			131	白岡市剣道連盟	

- ③ 第1分団…稽古終わり、面をつけた所にもどり面をとる。

甲手を落とさないよう気をつけて静かに自分の席へもどる。

- ④ 第2分団…起立…すぐに元立ちの先生の前に3人ずつ並び(一人だけ先生の前に実川先生の合図を待つ。

132	桜剣友会
133	東金町剣道クラブ
134	流山市剣道連盟 流山道場
135	市川中央剣正会
136	鳳武館
137	田島団地剣友会

第2分団・・・稽古が終わったら面をとって、大道場の周りで先生方の稽古を見学します。

互角稽古終了後、第2分団の選手は、記念品の手ぬぐいを1個ずつ持って、元立ちの先生方の前に座り、終わりの礼をします。

【姿勢を正して 黙想 やめ 先生方に礼】の号令をかけます。

礼の合図は、【真和館道場】 中学1年生 柏崎 司

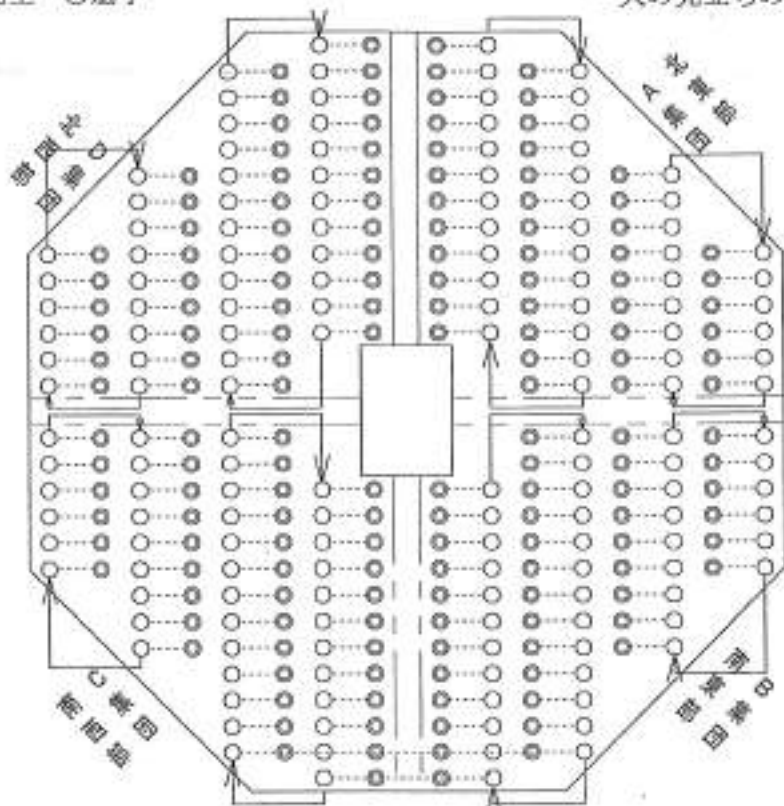
(8) 掛かり稽古の隊形と方法

①元立ちの先生の整列の仕方

②選手の並び方

◎元立ちの先生 ○選手

一人の元立ちの先生の前に選手は3人座る。



③ 稽古の内容

- ア 礼
- イ 切り返し (2回)
- ウ 掛かり稽古
- エ 太鼓と増えの合図で
蹲踞して納める。

【交代の仕方】

2列1組で左図の矢印の方向へ移動する。

- ④ 自分が掛かる場所と何回目かを左の図に書いておくと便利。
- ⑤ 会場への出入り口の階段をP3図で調べておくと便利
- ⑥ 自分の出番を忘れないよう、工夫しよう。

9 互角稽古・・・11時10分から11時25分

元立ちの先生方で模範稽古(5~6回)互角稽古をする。第2分団の選手は、見取り稽古終了後、代表選手の号令で黙想した後、先生方に記念品の手ぬぐいをお渡しし言葉を交わし終了。

10 試合場作り・・・11時30分から11時40分

- (1) 第1試合場から第13試合場の掲示板、長机、椅子などは大道場の周辺部に置く。
- (2) 選手変更・・・当日【受付済み後】の選手変更はできません。欠席者の氏名を受付カードに記入し、当日の朝受付に提出のこと。

※ 欠席者がいない場合でも、その他の欄を記入し、必ず、受付カードを提出のこと。

- (3) 審判員の先生方の集合・・・11時25分(予定)各試合場へ集合、審判主任との打ち合わせ。
- (4) 各班とも、1~32番までの選手は、それぞれの試合場に集合する。

11 試合開始・・・11時45分

- (1) P9の試合場の図を参照。班と試合場は同じ。
- (2) 試合時間①4, 5, 6年生は・・・1分30秒 延長1分
②新中学1年生・・・2分 延長1分

※延長で勝負がつかない場合は、判定とする。

- (3) 組合せ番号を、右のように、たれに白墨で書く。



(4) 出場選手人数

4年生男子	253名	女子	115名	4年生計	368名
5年生男子	239名	女子	86名	5年生計	325名
6年生男子	240名	女子	85名	6年生計	325名
中学1年生男子	207名	女子	90名	中学1年生計	297名
計 男子	939名	女子	376名	合計	1315名

(5) 反則

全日本剣道連盟の試合規則、審判規則に準じて行うが、会場が狭いため
場外反則はなしとし、その他の反則は規定通り行う。

※ 試合の結果（負け）に気をとられ、礼儀、作法を乱す選手も時には見られますので、ご指導願います。

試合の結果よりも、試合態度を重視したいものです。

(6) 声を出しての応援は禁止します。

(7) 特にお願い・・・せっかくの試合を近くで見たいのですが、会場運営上、引率の保護者、一般の方は、大道場（アリーナ）には一人も入らないよう、ご指導願います。

(8) 試合の進行・・・8人1組のブロックの試合は、4、5、6年生は約10分、中学1年生は、13分ぐらいです。各選手の出場時間を予測してください。

(9) 同封の大会会場図に各選手の番号、出場の予測時間を書いておけば便利です。

(10) 午後1時頃から、進行の遅れている班から進んでいる班へ、選手を移動させることがあります。1組（8人）をまとめて移動しますが、場内放送と特に電光掲示板にご注意ください。

(11) 昼食休憩時間は12時30分より約30分とし試合進行をみて試合場ごとに昼食をお取りください。

(12) 試合の時間に遅れないよう、一人一人、気をつけましょう。

(13) 緊急連絡が必要な場合、下記大会本部直通電話をご利用ください。

大会当日のみ直通電話「03-3216-5103」

※上記以外の番号には、かけないこと。

1.2 表彰

(1) 入賞選手は、賞状引換券を持って、中央本部記録係まで係員と一緒にいく。

4、5、6年生・・・各組（8人）ごとに1位・・・優秀賞 2位・・・優良賞

中学1年生・・・優勝 日本武道館より授与（閉会式で授与）

準優勝・3位・・・賞状・賞品（閉会式にて授与）

4回戦の敗者（優秀賞）3回戦の敗者（優良賞）

（優秀賞・優良賞は、試合終了後、即座に表彰する。）

(2) 作品道場の絵、作文、書道の3部門では、30名を3時半過ぎに電光掲示板にて発表し、表彰式を直ちに
行いますので、自分の名前を見つけたら大至急中央本部へ来て賞状を受け取る。

1.3 待ち時間の過ごし方

(1) 試合は、順調に進んでも4時間以上かかります。試合が早く済んだ後の過ごし方、待ち時間が長い場合の
過ごし方、などそれぞれによく考え工夫しましょう。

(2) 事故防止のためにも、大会参加の意義をよく考えましょう。

- (3) 感想文や絵を描く用紙がプログラム内にあります。切り取り用のはさみなどを用意してください。前回の感想文をできるだけ、プログラムに乗せました。準備不足で価値の高い作文を落としたかもしれません。最近、携帯電話（スマホ）などが普及し、手紙を書くことが少なくなりましたが、毎回、素晴らしい作文を書く選手が多いです。先生方や保護者のご指導のおかげです。中学1年生は、後輩に良い一言を残すよう期待します。最近、「勝ってうれしい、負けてくやしい。」と書く人が少なくなり、内容が良くなりました。「賞が取れなくて残念。」も少なくなりました。勝ち負けの考え方、入賞できなかった時、どのような考え方をしたらこれからの稽古に役立つか、よくご指導ください。特に負けた選手への助言が研究課題です。文章は、自分の心が率直に表され、具体的でよくまとまっている者が良いと思います。メールのような略文は書かず、まじめに素直に書くことが大事です。この文章表現の基本を日本武道館で身につけましょう。
- (4) 作品（習字）道場を西のロッカー室に設けます。筆、墨、半紙（1枚だけ）を用意しますが、普段使い慣れた筆を持参しても結構です。

保護者の方々へ

この大会へ大事なお子さんを参加させて頂きありがとうございます。このお便りを選手と一緒に読んで、先生方のご指導を一層徹底するよう、お願いします。

- 1 勝つことを目指して稽古を続けますが、少年剣道指導では基本の習得が第一義であります。このことは、日本人としていかに生きるべきか、生活の基本を身につけることでもあります。努力したが勝てなかった子への助言は大切なことです。負けた悔しさからいたずらをするようでは剣道が泣きます。日本武道館の大層なご理解で大会ができるのですから、この機会に立派な選手として行動できるよう、ご家庭でのご指導を一層よろしくお願いいたします。今日の大会の経験を生かして、明日以降の生活が充実するよう、ご指導ください。
- 2 せっかくの試合ですから、近くでご覧いただきたいのですが、大会運営上、役員、係員、参加団体の指導員（特別の徽章）の他は大道場には入れませんので、どうぞご協力をお願いします。双眼鏡のご準備など、いかがでしょう。指導員徽章を交代でつけあっていたいただいてもかまいません。
- 3 引率の保護者の方々も大事な指導者です。度の過ぎた行動には、その場でご注意（愛の指導）してください。掃りに座席周りの清掃を指導されている方もお見受けしました。感激いたしました。
- 4 この要綱は、大会当日持参して読み直してください。また、プログラムも、隅から隅まで良く読んでください。十分な出来ではありませんが、心を込めて作りました。
- 5 この要綱を事前に、お子さんと一緒に読んでいただくことにより、大会当日の選手の態度が非常によくなっております。ご指導、ありがとうございます。

※ 保護者の方の態度で残念な点も見受けられます。試合場に入るには、指導員徽章を胸に付けなければなりません。つけずに入っている方もいます。徽章を交代で身につけ、応援指導をお願いします。

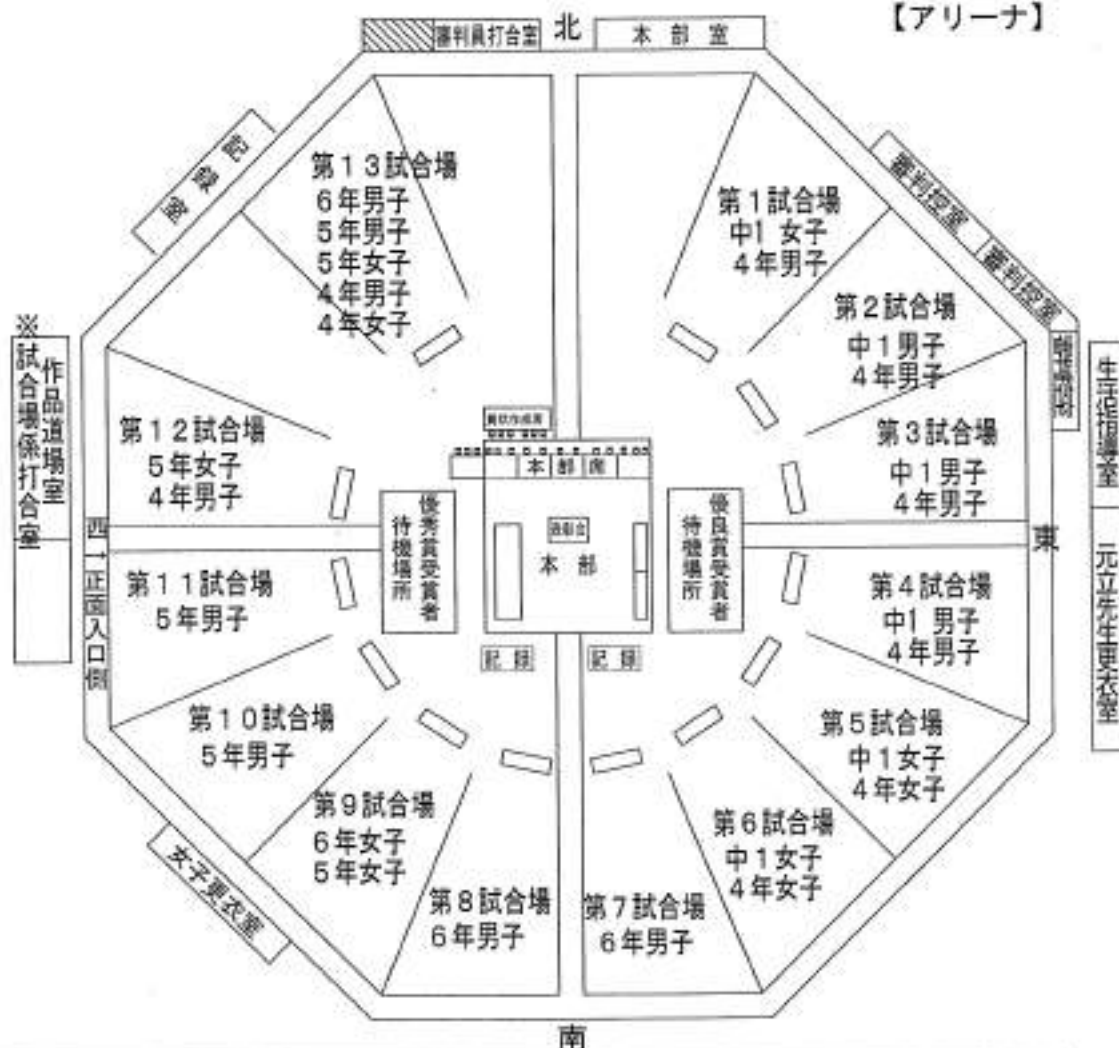
- 6 この要綱は、保護者の人数分をコピーして、各人が会場まで持参してください。

試合の会場図

- (1) 試合は、ふだんの稽古の成績発表会、またとない力試しのいい機会です。勝敗は世の常。勝ったからとて威張ることもないし、負けたからとて泣き悲しむこともありません。
試合の成績も大事ですが、みんなの生活態度が良いか悪いか、もっと大事です。
- (2) 試合場作りの時、各班の【1番～32番】(ア、イ、ウ、エの組)までの選手は、試合場に集まる。
- (3) 8人組の小学生の試合は約10分間ぐらいで進みます。中学生は13～15分程ですが、番号の遅い人は、かなりの時間を待ちます。試合が早く終わった選手は、後の長い時間をどのように過ごすか、よく考えてください。
- (4) 試合の出番に遅れないように注意しながら、待つ時間をどのように過ごすか、よく考えましょう。
- (5) 自分がどの班で、どこで試合をするのか、印をつけてください。
- (6) 【人の試合をよく見ましょう】

同じ学年なのに、どうしてあんなに立派な技が使えるのかな、今まで見たこともないような素晴らしい試合をしている選手もいます。勝ててよかった、負けてつまらない、などよりも、たくさんの選手の良いところを見て、これからの稽古に役立つよう、将来の為に持ち帰りましょう。

※地下2階会場図
【アリーナ】



◎生活時間・今日の思い出の1日を立派に過ごすために、コロナを意識しよう。
・試合を待つ間、試合が済んだ後の時間をコロナを意識し、工夫して過ごそう。